

9 エネルギー政策の推進

目指す姿

地域における様々な取組主体が、生活や産業活動において再生可能エネルギー等の多様なエネルギーの利活用を促進するとともに、省エネ・節電に取り組むことで、分散型エネルギーの推進と地域へのエネルギーの安定供給を目指します。

主担当部局(長)名
地域振興部長 山下 保典

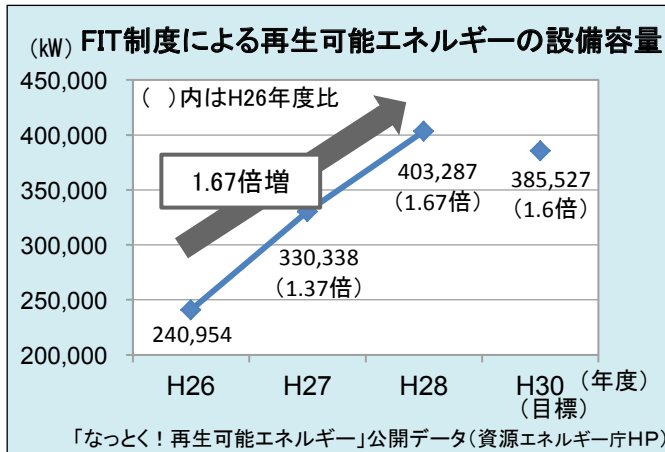


つくばね発電所(東吉野村)

主な成果

平成29年7月に、事業の利益を村の活性化に役立てることを目的とした小水力発電所が東吉野村で開設されました。

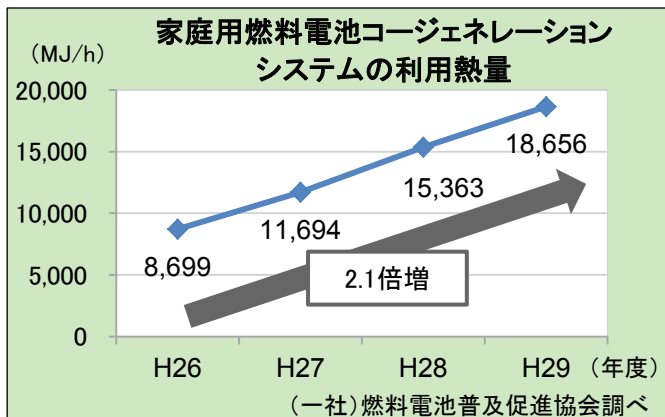
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成30年度の再生可能エネルギーの設備容量について、平成26年度比の1.6倍を目指します。
成果	県が行った再生可能エネルギー導入にかかるアドバイザー派遣や設備整備に対する支援、及び国のFIT(再生可能エネルギー固定価格買取)制度等の活用により、平成28年度の再生可能エネルギーの設備容量は、平成26年度比1.67倍と、目標の1.6倍(H30年度)を超えました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	<ul style="list-style-type: none"> ①拠点となる施設等における電源確保を進めます。 ②多様な再生可能エネルギー等の普及拡大を図ります。
------	--



目標	拠点となる施設等における電源確保を進めます。
成果	県のスマートハウス普及促進補助等の活用により、平成29年度の家計用燃料電池コージェネレーションシステムの利用熱量は、平成26年度比9,957MJ/h増と、第2次奈良県エネルギービジョンの目標の12,199MJ/h(H30年度)を超えました。